

なんだ・かんだ

◆ 未来の「食」 ◆

2050年には、世界人口が90億人に増えると予想され、食糧難に陥るのではないかと心配されています。

そんな中、当社も関係する漁業の世界では、「捕る漁業から育てる漁業へ」の流れが地球規模で広がっています。世界全体の漁獲量に占める養殖の割合が2011年に40.1%を占めました。最近までの約30年間で養殖の割合が6倍以上、生産量も13倍以上に増えています。

通常の捕獲と養殖を合わせた全体的な漁獲量は過去50年間、世界人口の増加を上回るペースで伸びています。捕獲は1990年ごろから頭打ちの状態ですが、養殖はこれを補うような形で大きく増えています。国連食糧農業機関(FAO)でも、養殖が順調に成長すれば水産物は持続的に主要な栄養源になり得るとの見通しを示しています。

一方で、「昆虫食」が近年見直されている、という報告があります。昆虫は毒毛を持つ毛虫などを除いて、ほぼすべての昆虫は食べても害がなく、またたんぱく質やミネラル分などの栄養素が豊富に含まれています。生息数は無限に近く、繁殖力もきわめてすぐれて、いま仮に、世界中の人々が一斉に昆虫食へシフトしたとしても、なお余りある量を確保することができるとも言われています。

ただ、実際に導入するとすると、多くの問題があります。一般的に日本をはじめとする先進国では、昆虫忌避の傾向が強いですが、外形の「気持ち悪さ」もクリアしなければならぬ問題のひとつです。また、昆虫そのものが「腐りやすい」、つまり保存が利かないという大きなデメリットを持っています。他にも、毒キノコのように食べると命に関わるような病気になってしまう昆虫もあるそうです。

途上国など、たんぱく源を食肉や魚介類に求めることの難しい地域では、今も昆虫食の習慣が色濃く残っています。先進国の日本でも、「イナゴの佃煮」はその最たるモノで、私も幼い頃に食べた記憶があります。また、長野県では「蜂の子」の缶詰は高級食材として販売されています。フランスのエスカルゴも、ある種の「虫食い」と言えるかも知れません。

昆虫食は昔の日本では比較的普通に行われてきたことを考えると、今の虫嫌いの風潮は、殺虫剤のCMや、主婦の主観によって増幅された、ある意味理不尽なものと言えるかもしれません。私の家内の虫嫌いはすさまじいモノがあり、ゴキブリでも出ようモノなら、携帯に電話が掛かってきて大騒ぎです。

本来、虫は、あらゆる動物の中で最も古くから存在している訳で、「昆虫食」も、古くから普通に行われてきました。牧畜や農業が行われる前は、人間は生きる為に「狩猟」をしていましたが、その対象の多くは虫そのものであったと考えられています。日本人のご先祖様である縄文人も、虫を主食代わりに食べていたようです。

先日新聞では日本で、「ミドリムシ」を栄養源とする食べ物の開発を研究している会社が上場するとい記事が出ていました。

これがとても栄養豊富な食料になると言う事です。

これで、将来の食糧難は心配せずに済みそうです。ただ、私が生きている内にそのような社会にならない様に祈るばかりです。



超大型の台風26号が伊豆大島に大きな爪痕を残して過ぎ去ると、直ぐに27号・28号がアベックで、追い打ちをかけるように日本列島を襲ってきましました。環境破壊が原因なのか、本当に最近は大規模の台風が連続して日本を襲うようになりまし。

さて、昨年は秋をゆっくり味わう前に、冬が来てしまったように感じましたが、今年はどうでしょうか。秋の見所のひとつの紅葉は、一般的に秋の気温と深く関係していて、気温が低いと紅葉の時期が早まり、高いと遅くなるそうです。今年は10月中旬までは例年よりも気温が高かったのですが、10月下旬からは冬型の気圧配置が現れるようになり、例年並みかやや低い気温になると予想されています。そのため11月、12月に見頃を迎える東日本・西日本では、例年並に紅葉の見頃を迎える地域が多くなるだろうということです。

読書の秋・味覚の秋・スポーツの秋・芸術の秋と言いますが、紅葉と共にこれらの秋をゆっくり楽しみたいたいものです。

今年の紅葉は例年並み

代表取締役 服部 厳一郎

機能性塗料⑦

● 静音・制震塗料 ●

この塗料は、塗るだけで防音効果がある塗料です。金属板など振動による耳障りな金属音、ビビリ音もソフトな音にする効果があり、騒音を大幅に低くする塗料タイプの制振材です。

金属板をたたいた時になる、「ガーン」という響く音を「コン」と小さな音に変化させます。

例えば、住宅では、屋根に塗って雨音を抑えたり、キッチンのシンクの裏に塗って水音を抑えたりできます。車では、タイヤハウスの内側に塗って路面とタイヤとの間に生じる騒音を軽減したり、ボンネット裏に塗ってエンジン音を減衰させたりすることが期待できます。その他、車両関係や住宅関係以外でも、洗濯機・冷蔵庫などの家電やハードディスクやプリンター等の情報機器関連、ポンプやコンプレッサーなどの産業機器から発せられる騒音などの低減に用いられます。

ただこの塗料は、制振材であり、振動を吸収することに効果を発揮するため、振動を軽減させて、騒音を抑えるものですから、音を直接防ぐ、音を直接吸収するといった遮音材や吸音材とは違いますので、使う場所用途を気をつけないと、全く効果がないモノになります。



■ チキリ君のつぶやき(朝礼の社員スピーチから) ■

先週の土曜日に、私はスズメバチに刺されました。その時たまたま私と世間話していた友人が、つい最近ハチに対する応急処置の講習を受けたばかりだったので、すぐに適切な対処指示を出してもらえました。

私も知識としては、なんとなく知っていたつもりでしたが、痛さで半分パニックになってしまい、そんなことは頭の片隅にもありませんでした。

いかに平日頃知識の学習反復、更新が必要か身にしました出来事でした。おかげで、病院の世話になることもなく、少しハレが残った程度で済んでいます。

(建設部 酒寄通保)

本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させて頂きます。

株式会社チキリ

静岡県駿東郡清水町卸団地 73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/